

## 第 28 回天ヶ瀬ダム再開発事業景観検討委員会 議事要旨

開催日時：平成 28 年 1 月 28 日（木）14：00～16：00

開催場所：宇治市産業会館 3 階会議室

委員：近藤委員長、吉田委員、山本委員、北村委員、吉水委員、仲久保委員、  
齋藤委員代理（澤田委員は欠席） 以上敬称略

事務局：琵琶湖河川事務所

### [審議概要]

天ヶ瀬ダム再開発事業によるトンネル式放流設備の建設工事およびこれに伴う付替道路や地形改変とその復旧等について、これまでの委員会での指摘事項に対する報告のほか、今後の設計や施工の方向性などについて、景観的な観点から各委員より意見及び助言を頂いたものである。

VRCG や模型により、対象施設周辺の景観を様々な角度・視点からご覧頂いた。これらに基づき、活発なご議論をして頂いた。

- (1) 規約の変更について
- (2) 第 27 回委員会議事要旨の確認
- (3) 議事
  - ① 緑化の対応について（現地植生調査結果）
  - ② 金井戸谷川ボックスカルバートについて
  - ③ 流入部建屋デザインについて
  - ④ 今後の予定

### [議事概要（総括）および対応方針]

- (1) 規約の変更  
特になし
- (2) 第 27 回委員会議事要旨の確認
  - ・白虹橋の歩道は下流側に整備される予定だが、利用者視点からは、ダムがよく見える上流側に行く可能性が高い。橋付近の上流側にビューポイントを設けるなど、利用者が安全に留まれるような配慮が望まれるとの御意見をいただいた。
- (3) 議事
  - ① 緑化の対応について
    - ・委員による工事現場視察を平成 28 年 6 月頃に実施することが要望された。
    - ・現在現地で確認できる植生のうち以下の各種について、対応方針の御意見をいただいた。いずれも経過を観察するものとした。

- 1) 現在の法面はオオアレチノギクが優占しているが、いずれススキに置き換わることが想定されるため、問題ないであろう。
  - 2) ナンキンハゼは成長または個体数が増えると周囲に悪影響を及ぼす可能性があるため、注意が必要である。
  - 3) カラスザンショウは、他のものが優勢になってくれば、自然に減っていくことが想定されるため、問題ないであろう。
  - 4) いずれヤマハギよりもススキが優勢となるかもしれないが、ススキは景色として悪くないため、問題ない。
- ・市道宇治志津川線の法面崩壊箇所は、道路側からは見にくい位置にあり、崩壊箇所下側の法面緑化により隠れることが考えられるため、現状の状態で良いとの御意見をいただいた。

② 金井戸谷川ボックスカルバートについて

- ・下段ボックスカルバート及び擁壁の形状は了承をいただいた。
- ・流路上で石を張る箇所については表面が凸凹するように仕上げると良いとの御意見をいただいた。
- ・現状では上段ボックスカルバートの上流側に水が溜まる箇所がないため、金井戸谷川復旧施工時にも水溜りは設けないほうが良いとの御意見をいただいた。
- ・滝の流量が少ないため、落とし口の凹凸によりある程度水を集束して落とした方が、水量に変化が付き生物にとって好ましい生息環境になると思われる。生物環境ワーキンググループの意見も踏まえ、今後も継続的に検討していくことが要望された。

③ 流入部建屋デザインについて

- ・建屋デザインの検討結果について報告し、了承をいただいた。
- ・開閉装置の位置を変えることで建屋の大きさを小さくできたことは好ましいことであることの御意見をいただいた。
- ・ゲート室部の建屋についても流入部建屋と同様にコスト縮減の観点から縮小することを検討したが、地中の立坑躯体との取り合いを考慮すると建屋形状変更の効果は無いため変更しないことを説明し、了承をいただいた。
- ・今後、隣接する平場部の検討を進めることが要望された。

④ 今後の予定

- ・6月頃、工事現場視察会を開催予定。
- ・平成28年度冬季に第29回景観検討委員会を開催予定。

以 上